

福祉法人 経営協山形

第 52 号

平成30年 3 月20日



社会福祉法人 山形県社会福祉協議会
山形県社会福祉法人経営者協議会

社会福祉法人敬寿会（山形市）

《法人概要》

社会福祉法人敬寿会は、平成7年に山形市妙見寺においてケアハウス、デイサービスセンター、在宅介護支援センターを開設したのが始まりです。

平成14年に厚生労働大臣による許可法人となって以来、山形、宮城、埼玉、東京、神奈川に合わせて12施設、職員は730人余りの広域的な法人になりました。

この広域に展開する施設の特性を活かし平成23年3月11日の東北大地震時には、宮城県の被災者の受け入れ、救援活動、その後の雇用などを行い、厚生労働大臣の感謝状もいただいております。又、災害時の福祉避難所の受入を行っています。

当法人は、基本理念である『プライバシーの保護、自主性の尊重、自立支援、個別援助計画に基づく生活支援・介護介助』を具現化すべく、職員一人ひとりが入居者・利用者に対するサービスの向上、家族・地域・医療及び関係機関等との連携に努めています。

《地域における公益的な取組》

＜認知症サポーター活動支援＞

山形敬寿園（山形県山形市）＞

地域の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、事業の特性やこれまでの経験を活かして、様々な地域貢献活動を行っています。



特に力を入れているのが、認知症になっても住み慣れた場所で自分らしく暮らしていけるよう地域で支え合う取り組みである「認知症サポーター養成講座」活動を随時開催しており、地域の方々や各種団体の御依頼での出張講座も行っています。施設職員は、受講者に分かりやすいよう、講話だけではなく寸劇も踏まえ、認知症を理解していただけるよう努めています。

＜サロン活動・居場所づくり「いきいき100歳体操・サロン」…鈴川敬寿園（山形県山形市）＞

① 実施に至る経緯

平成28年度運営推進会議の中で「100歳体操」が話題になり、福祉サロンの一環として施設内で実施することとしました。

② 具体的な内容

毎月一回、第二木曜日10:30～多機能フロアで開催。終了後、休憩室でサロンを開催。

③ 参加対象者及び参加費用

地元町内会の住民。参加費用はゼロ。

④ 予算や人員体制など

- ・体操終了後のボトル飲料水の提供、お菓子等。
- ・利用者も一緒に参加。職員も参加しながら、安全に実行できるよう見守っています。

⑤ 取組による変化や効果

- ・住民の健康に対する意識が高まるとも





に、施設利用者に対する理解も深まっています。

- ・住民の活動仲間が増え、体力も増したとの話が聞かれています。

⑥ 今後の展望

- ・マンネリ化の防止、体幹機能の向上の為、他のバージョンも導入していきます。

＜地域高齢者や障がい者の農業等の取組…

沼木敬寿園（山形県山形市）＞

① 実施に至る経緯

グループホームにおいて、利用者の日中活動及び楽しみのために、空き地を利用し畑づくりを企画。農作業に不慣れな職員を見て、地域のベテラン農家の方が耕地をはじめ、農作業全般に支援いただいているものです。

② 具体的な内容

利用者や職員ともに、耕地をはじめ、苗の植え付け支柱立て、草取り、収穫などの農作業を行っています。収穫した物は、グループホームの食事の際にみんなで楽しんでいます。

③ 参加対象者及び参加費用

地域の農家の高齢者の方。

④ 予算や人員体制など

年2回程度、謝礼分として品代5千円、及び野菜の苗や支柱、肥料等1万円程度は施設経費とし、グループホームの職員が対応しています。

⑤ 取組による変化や効果

支援者の農家の方も後期高齢者の方が多いのですが、やりがいをもって支援を継続してくれており、利用者も見事な野菜の収穫に満足感を持ち、精神面の安定にもつな



がっています。

⑥ 今後の展望

今後も、利用者に楽しみや充足感を持ってもらうことや、地域の高齢者の方にも、農作業の支援を通して「生きがい」を見つけてもらえるよう、継続したいと考えています。

＜生活困難者レスキュー事業…

相模原敬寿園（神奈川県相模原市）＞

① 実施に至る経緯

社会福祉法人に求められている地域貢献施策の一環として、神奈川県社会福祉協議会が主体となっている「かながわライフサポート事業」に参画するものです。定款変更と第二種社会福祉事業開始届を提出し、開始しました。

② 具体的な内容

所定の養成研修を受講したコミュニティソーシャルワーカーが、生活困窮者等に対し総合的な生活相談支援を行っています。

③ 予算

特別会費の10万円、人員体制は、ケアマネ相談員2名が所定研修を修了し、対応します。

④ 取組によっての変化や効果

実績は0件ですが、地域貢献事業として職員の意識づけとして効果があったと考えています。

⑤ 今後の展望

コミュニティソーシャルワーカー養成研修へ複数参加し、体制整備を図っていきます。